

生活相談

工藤 ちか子
TEL (FAX) 958-8821
佐藤 ともひと
TEL 080-6851-1606
深川 ともか
TEL 070-2209-7907

日本共産党三郷市議団
議会報告ニュース

2022年1・2月号
12月議会報告
日本共産党三郷市議団
三郷市役所6階(市議会控室)
TEL (953) 1111 (内線6641)

ピアラシティ交流センター

～指定管理者は日比谷花壇が継続～

ピアラシティ交流センターおよびピアラシティ中央公園は、2022年4月1日から5年間の管理・運営を「株式会社日比谷花壇」が継続して実施することとしました。

公募では4社が手を挙げましたが、実際に申請があったのは1社でした。選考委員会の協議では高い評価を得たため継続することになりました。



ピアラシティ交流センター

意見書(2件)賛同得られず

日本共産党議員団は、12月議会に2件の意見書を提出しましたが、他の会派の賛同を得ることができず、意見書を議会に提案できませんでした。(下記に意見書の要旨)

意見書①

石炭火力発電所の廃止を求める意見書

日本の温室効果ガスの削減目標が42%と全世界の平均より低いこと、石炭火力についてはエネルギー基本計画でも2030年時点で19%も頼るものとなっていることなどからCO2削減目標を引き上げることや石炭火力を計画的に廃止する方針に転換するよう求めています。

意見書②

政党助成金制度の廃止を求める意見書

文書通信交通滞在費の問題がマスコミで大きく取り上げられていますが、見直しをすることは当然だとし、政党助成金もその対象にしなければならないのではないかと。政党助成金は、国民の思想・政治信条に基づいて支持政党に寄付する自由と権利を無視して一律に250円を負担させ年間320億円もの税金が政党に強制的に寄付されていることの不条理を指摘、見直しを求めています。



補正予算は、第6号に続き第7・8号の追加があり、総額約10億4200万円となりました。第6号の補正予算の主な内容は、住宅確保給付金の延長による増額分、児童手当の改正によるシステム改修費、学童保育の開所時間延長に伴う人件費などです。なお、約1億9千万円を財政調整基金(市の預貯金)に積み増し、残額を約27億9千万円としました。市議団は、灯油をはじめ物価上昇が生活困窮者の暮らしを厳しくしていると指摘、市の独自支援を要望し賛成しました。追加された補正予算(第8号)における「子育て世帯への臨時特別給付金」事業は、対象者に1人5万円の支給でしたが、国の指針が新しく示されたことから現金10万円の一括給付となりました。

補正予算
3議案を可決

○子育て世帯への臨時特別給付金

18歳まで(平成18年4月1日までに出生)のお子さんがある世帯(1万1千世帯分)

○飲食補助クーポン券

新型コロナワクチン接種を2回終了した12歳から15歳の子どもが対象



屋外広告物条例を改正

(共産党は賛成)



三郷市ハザードマップの屋外広告

政府は、観光先進国の実現に向け、多言語表示に対応した「公共案内図版」等の設置を促進。これを受けて三郷市は、公共デジタルサイネージ(市内の駅などに設置)など「屋外広告物の表示」を禁止地域にも可能にする規制運用の弾力化を実施。同時に屋外広告物の落下や事故防止を図るための安全管理を強化します。市議団は、広告物の点検を義務付けたことを評価し、景観を損ねることがないよう広告の内容に十分配慮することを要望しました。